

令和〇年〇月〇日

延岡市景観計画区域内行為（変更）届出書

延岡市長 殿

行為の着手の30日以上前に
届出してください。

届出者は、建築主・築造主です。
※設計者・工事請負者は不可。

郵便番号 882-〇×〇×

住 所 延岡市〇町〇番地〇

氏 名 景観 太郎

電話番号 0982-**-****

届出者

第16条第1項
景観法 の規定により、次のとおり届け出ます。
第16条第2項

城山周辺地区やシンボルロード周辺地区
が該当します。
それ以外は“上記以外の区域”にチェック

区 域 区 分	☐ 景観形成重点地区	() 地区
	☒ 上記以外の区域	
行為の 場所等	延岡市〇〇町〇〇番地〇	
	用 途 地 域	第2種中高層住居専用地域
行為の 期間	着手予定日 令和〇年 5 月 1 日	完了予定日 令和〇年 12 月 1 日
	郵便番号 882-****	
設 計 者 (代理者)	住 所 延岡市〇町〇〇番地〇	
	氏 名 延岡太郎 (電話 0982-**-****)	
	事務所名 有限会社 景観建築設計事務所	
施 工 者	郵便番号 882-****	
	住 所 延岡市〇町〇〇番地〇	
	氏 名 延岡次郎 (電話 0982-**-****)	
	事務所名 株式会社 景観建設	
行 為 の 種 類	①建築物	☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 移転 ☐ 外観の変更（修繕、模様替） ☐ 色彩の変更
	②工作物	☐ 新設 ☐ 増築 ☐ 改築 ☐ 移転 ☐ 外観の変更（修繕、模様替） ☐ 色彩の変更
	③土地の形質の変更	☐ 切土 ☐ 盛土
	④木竹の伐採又は 移植	☐ 伐採 ☐ 移植
	⑤屋外における土石、 廃棄物、再生資源等 の集積または貯蔵	☐ 集積 ☐ 貯蔵

※該当する項目について□にチェックしてください。

該当する項目にチェック
してください。

①建築物の概要	主 要 用 途		共同住宅		建築物の新築の場合 増築の場合		
	構 造		RC 造 一部				
	階 数		地上 3 階 地下 - 階				
	敷 地 面 積		6,700 m ²				
	建 築 面 積		届出部分 1,123 m ²	届出以外の部分 ※既存建築物の 建築面積を記入 m ²	合計 1,123 m ²		
	延 べ 面 積		届出部分 3,059 m ²	届出以外の部分 ※既存建築物の 延べ面積を記入 m ²	合計 3,059 m ²		
	最 高 高 さ		8.5m				
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ		高架水槽 m クーリングタワー 2.7 m その他 () m				
	工作物等を含めた高さ		11.2m				
			仕 上 げ (材料・方法)		色彩※1 (マンセル表色系の値を記入すること)		
					基調色※2	従属色※2	アクセント色
	屋 根		アスファルト防水		4BG7.5/1.5	-	-
	外 壁	第 一 立 面	タ イ ル 貼		10YR6.5/2	10YR8.5/2	-
		第 二 立 面	タ イ ル 貼		10YR6.5/2	10YR8.5/2	-
	アクセント色を用いた場合、各壁面の鉛直投影面積又は屋根面の水平投影面積に占める割合 ※算出根拠を提出図面に記入すること。			屋 根 面		- %	
				第 一 立 面		- %	
			第 二 立 面		- %		

建築物の色彩 の変更の場合	外観の変更 (修繕、模様替え) 及び色彩の変更	届 出 内 容	外観の塗替え
		届出部分の面積	766 m ²

②工作物の概要	種 類	☑鉄塔 □その他（ ）			工作物の新設の場合
	主 要 用 途	携帯用無線基地局			
	構 造	鉄骨造			
	高 さ	14.0m			
	色彩※1（マンセル表色系の値を記入すること）	基 調 色※2	N7	アクセント色の割合 %	
		従 属 色※2			
		ア ク セ ン ト 色			

③土地の形質の変更の概要	目 的	
	法面の最高高さ	m
	面 積	m ²

④木竹の伐採または移植の面積	m ²
----------------	----------------

⑤屋外における土石、廃棄物、再生資源等の集積または貯蔵の概要	種 類	
	期 間	高 さ 面 積
	年 月 ～ 年 月まで	m m ²

※1 色彩について、色彩が施されていない場合は、素材そのものの色をマンセル表色系で記入して下さい。

※2 基調色とは、全体のイメージとなる土台の色のことです。従属色とは、基調色の次に広い部分を占める色のことです。

配慮した部分について□
にチェックしてください。

設計上特に配慮した事項（工作物・建築物） ※配慮した部分について□にチェックしてください。

	配 慮 し た 事 項
配 置	□道路等の公共用地に面する建築物等の壁面は、境界線からできる限り離れた位置に配置し、オープンスペースの確保に努めることにより、公共空間と一体となったゆとりある配置となるように配慮した。 ☒周辺のまちなみとの調和や連続性に配慮した配置とした。 □既にまちなみが形成されている地域では、周辺のまちなみとの調和や連続性に配慮した配置とした。 □山なみの稜線などへの良好な眺望に配慮した配置となるように努めた。 □その他（ ）
高 さ	□周辺の（まちなみ・海浜景観）から突出した、（まちなみ）景観と不調和な高さとならないように配慮した。 ☒山なみの稜線などへの良好な眺望を阻害しない高さとなるように努めた。 □橋梁などの主要な視点場から見て、河川景観と調和した高さになるように配慮した。 □周辺の（田園・自然）景観と調和した、まとまりのある高さとなるように配慮した。 □城山周辺地区については、建築物等の高さを標高21m以下とした。 ☒建築物等の高さは、周囲の建築物等と調和したスカイラインを形成するよう努めた。 □その他（ ）
形 態 意 匠	□周辺のまちなみや自然景観との調和に配慮した、まとまりと落着きのある形態・意匠とした。 ☒大規模な建築物の外壁は、形態の工夫や目地・色彩による分節化等により、圧迫感を感じさせないように配慮した。 □山なみの稜線などへの良好な眺望を阻害しない形態となるように配慮した。 □建築物の形態やファサードデザインの統一などにより、連続性のあるまちなみ景観の形成に努めた。 □特に、まちなみ低層部の連続性の確保、デザインの高質化等により、にぎわいと統一感の演出に努めた。 □道路に面する建築物等の1階部分については、中心市街地にふさわしい外観とし、シャッターは夜の景観に配慮した意匠とした。 □橋梁などの主要な視点場からの見え方に配慮した。 □連続性のあるまちなみ景観の形成に努めるとともに、歴史的雰囲気と調和した風格のある景観を形成するような形態・意匠とした。 □城山や愛宕山、今山などからの眺めを妨げないような形態となるように努めた。 □その他（ ）
色 彩 素 材	□周辺のまちなみや自然景観と調和した落ち着いた色彩・素材とした。 ☒色彩については、マンセル値によりR、YR、Yは彩度6以下、その他の色相は彩度4以下とした。 ☒屋根面はできる限り無彩色または低明度・低彩度色を使用し、まちなみや自然などの周辺景観と調和したものとした。 □延岡らしさを感じさせる地場産の素材を積極的に取り入れるように努めた。 □過度に光沢、反射する素材の使用を避け、耐久性・耐候性に優れた素材を積極的に取り入れるように努めた。 □愛宕山、城山、今山などの主な視点場から見える屋根又は屋上部分については、良好な眺望を阻害しないように配慮した。 □木材や石材等の自然素材色と類似した色調を基調とするなど、四季の移り変わりとの調和も考慮した色彩とした。 □その他（ ）
屋 外 設 備 類	□屋外階段、および配管・ダクト、室外機や高架水槽等の建築設備は、できる限り道路など公共の場から見えない位置に配置した。やむを得ず見える位置に配置した場合は、覆いを設けたり色彩の工夫により、周辺景観との調和に配慮した。 □日よけテントを設置する場合は、色彩やデザインの工夫により、建築物本体との調和に配慮した。 □道路など公共用地に接する場所にベランダ、バルコニー類を設ける場合は、周囲の景観と調和するように構造及び意匠を配慮した。 □ベランダ、バルコニー類の生活用品は外部から見えにくいような工夫をし、緑化等によって潤いのある表情をつくるように努めた。 □その他（ ）
外 構	☒道路など公共用地に接する場所に塀や柵等を設ける場合は、閉鎖的な塀・擁壁を避け、植栽、見通しのきくフェンス、自然素材のもの等を用いることにより周辺景観との調和に配慮した。 ☒ごみ集積所、および付属施設等は、公共の場からできる限り見えないように設置した。やむを得ず設置する場合は、母屋と同様の形態・意匠、素材による遮へいや周囲の緑化等により周辺景観との調和に配慮した。 □駐車場、駐輪場は周囲をできる限り植栽で囲み、生垣植栽又は自然素材（板塀、竹垣、石積み等）による修景に努めた。 □大規模な敷地については、敷地内に歩行者のための通路を設けるなど、魅力のある商業空間の形成に努めた。 □その他（ ）
緑 化	☒既存の樹木の保全や風土に合った樹種の採用により、地域固有の景観の保全・育成に努めた。 ☒道路など公共用地から見える場所については、できる限り緑化に努めた。 □道路など公共用地から見える場所については、周辺に調和した植栽、花壇等により、四季の移り変わりを積極的に演出するよう努めた。 □敷地内部は少ないスペースでも出来る限り緑化に努めた。 □愛宕山、城山、今山などの主な視点場から見える場所については、できる限り屋上緑化や敷地内緑化に努めた。 □庭先・店先に植栽スペースを確保したり、庭先・店先や窓辺を草花で彩るなどにより、美しい市街地景観の形成に努めた。 □庭先・店先や窓辺を草花で彩るなどにより、美しい景観の形成に努めた。 □道路境界と建築物等との間に適切に高木を配置するなど、緑に包まれたうるおいと落ち着いたある工場地景観の形成に努めた。 □その他（ ）

照 明	☐ 周辺の生活環境、自然環境への影響に配慮した照明とした。 ☐ 回転灯やサーチライト等の光の量が多く、動きのあるものはできる限り使用しないこととした。 ☐ デザイン性の高いライトアップにより夜間景観のにぎわいの演出に努めた。 ☐ 商業施設において、デザイン性の高いライトアップにより夜間景観のにぎわいの演出に努めた。 ☐ 市街地においては橋梁などの主要な視点場からの見え方に配慮し、デザイン性の高いライトアップにより 夜間景観のにぎわいの演出に努めた。 ☐ その他（ ）
そ の 他	☐ 市街地のアーケードについて、光を通す透明または半透明の材質の屋根とした。デザインについては、道路や歩道の動線を配慮し、近隣のアーケードや街並みと調和のとれたものとした。 ☐ その他（ ）

設計上特に配慮した事項（その他） ※配慮した部分について□にチェックしてください。

	配 慮 し た 事 項
土地の形質の変更	☐ 既存の地形を生かした必要最小限の形質の変更、既存樹木の保全、周辺との調和に配慮した形態・素材の採用、在来種による緑化等により、周辺景観と調和したものとなるように配慮した。 ☐ その他（ ）
木竹の伐採または移植	☐ 伐採・移植する範囲は必要最小限とし、周辺景観を著しく損ねることのないよう努めた。 ☐ 樹林地の一部を保全または可能な限り緑化するなど周辺景観との調和に配慮した伐採・移植とした。 ☐ その他（ ）
屋外における土石、廃棄物、再生資源等の集積または貯蔵	☐ 土石等の集積または貯蔵を行う場合は、できる限り道路など公共の場から見えない位置に配置した。 やむを得ず見える位置に配置する場合は、敷地境界線からできる限り後退した位置への配置、植栽や塀による遮へい、積み上げ高さを低く抑えるなどにより、周辺景観との調和に配慮した。 ☐ その他（ ）